



Vol.152  
2022年8月号

# やらざあ

## 日中一時支援がスタートしました

日中一時支援事業は、見守り等の支援が必要な障害児・障害者の活動の場や居場所を確保し、介護しているご家族の就労支援及び一時的な休息を目的とする福祉サービスです。



場所：あすなろセンター（日中一時支援館）  
利用できる日：月曜日から金曜日  
（国民の祝日、年末年始を除く）  
利用できる時間：午後3時から午後6時  
利用料：所得に応じた自己負担額

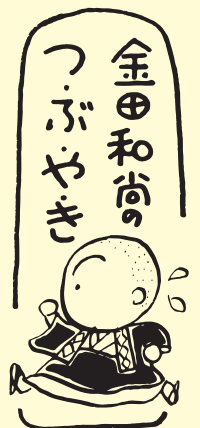
地域住民の方々にも支援員としてご協力いただき、安心して過ごせる場や充実した時間を提供いたします。  
利用方法・利用料金等詳細については、お問い合わせください。

問合せ：あすなろセンター  
＜茅野市塚原1-15-30  
電話：0266(72)7972＞

「笑い」は免疫力を高めます。  
笑うことで体内に酸素が多く取り込まれ、血行促進や脳の働きの活性化など、さまざまな効果が期待されます。  
みなさんも「18歳と81歳の違い」を考えて楽しんでみてください。

- ◎ まだまだ何も知らないのが18歳、もう何も覚えていないのが81歳。
- ◎ 心がもろいのが18歳、骨がもろいのが81歳。
- ◎ ドキドキが止まらないのが18歳、動悸が止まらないのが81歳。
- ◎ 恋で胸を詰まらせるのが18歳、餅でのを詰まらせるのが81歳。
- ◎ 偏差値が気になるのが18歳、血圧、血糖値が気になるのが81歳。
- ◎ 親の支えが18歳、杖の支えが18歳。
- ◎ 投標できるのが18歳、途方にくれるのが81歳。
- ◎ 自分探しの旅をしているのが18歳、自分の帰る場所を探しているのが81歳。

今月はみなさんをユーモアで笑顔にする話題です。18歳と81歳の違い 東灘こどもカフェ2018.7月号





# “社協会費”にご協力をいただき、ありがとうございます。

## みなさんから寄せられた会費が「福祉でまちづくり」を支えます。

社協では「誰もが心豊かに安心して暮らせる支えあいのまち」を目指して、毎年、市民のみならず、企業や団体のみなさんから社協会費をいただいております。この社協会費は、地域福祉事業推進の貴重な財源として活用させていただいているほか、市内10地区の地区社協に約2割を還元し、地域住民のみなさんの支え合いの活動に使わせていただいております。市民のみなさんには会費の趣旨をご理解いただき、ご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

昨年度（令和3年度）ご協力をいただいた各世帯からの社協会費の総額は**8,534,278 円**でした。

《各地区の状況（令和3年度）》

地区名	金額	地区名	金額
ちの	1,588,724円	宮川	1,581,130円
米沢	481,450円	豊平	951,500円
玉川	1,701,431円	泉野	377,460円
金沢	525,000円	湖東	473,283円
北山	537,500円	中大塩	306,800円
地区外	10,000円		
合計	8,534,278円		

《各地区社協への配分（令和3年度）》

地区名	金額	地区名	金額
ちの	317,145円	宮川	314,226円
米沢	95,690円	豊平	190,100円
玉川	339,686円	泉野	75,492円
金沢	104,800円	湖東	93,857円
北山	107,300円	中大塩	60,760円



社協会費ってのことだけど、社協会員になった覚えはないのになあ…

社協は地域福祉推進の中心的な役割を果たす団体として「社会福祉法」という法律に位置づけられ、「心豊かに安心して暮らせる支えあいのまちづくり」を市民のみなさんとともに推し進めていく組織です。福祉でまちづくりを進めるため、そこに暮らす全ての人にまちづくりへ参加していただきたいと願っています。会員を茅野市の全世帯対象とさせていただいているのも、みんなが地域福祉の推進を目指しているからです。



なんで“寄付”じゃなくて、“社協会費”って呼ぶの？

社協会費は自分が暮らす地域をよりよい地域にするために、地域福祉推進の主体者である会員として出さうお金のことです。今は具体的に活動ができなくても、会費の協力が「自分の地域を自分でつくる」地域福祉活動を支えることにつながります。



住んでいてよかったまちづくりのためにみなさんのご協力をお願いします。

## 法人会員様を募集しております

茅野市社会福祉協議会では、より充実した福祉事業の推進と多様な福祉ニーズへの対応を図っていくために、令和2年度から「法人会員」を創設し、多様なネットワークによる「福祉でまちづくり」を進めています。

趣旨や活動にご賛同いただける法人会員様を随時募集しております。ご理解とご協力をお願いいたします。



# 令和3年度 茅野市社会福祉協議会の事業報告と決算

新型コロナウイルス感染症の流行は、人々の生活様式や様々な社会システムをはじめ、地域での福祉活動に対しても大きな影響を及ぼし、茅野市社協でも一部事業の縮小や中止を余儀なくされた一年となりました。こうした厳しい状況下ではありましたが、「誰もが心豊かに安心して暮らせる支えあいのまち」を目指し、様々な事業を展開しています。ここに主な事業について報告します。

## みなさんの地域づくりを応援するための事業

支援を必要とする人の存在とその問題の早期発見、問題を抱えた人が必要なサービスを利用しやすくするための援助など問題解決に向けて取り組みました。

また、コロナ禍での工夫した地域の活動や新しいつながりなどを紹介した情報紙「あっちのこっち」を作成し全戸配布しました。

## 一人ひとりの日常生活を支え、 応援するための事業

配食サービス「おたっしゃ弁当」、移送サービスなど、利用者一人ひとりに寄り添った生活支援サービスを提供するとともに、利用者のニーズに基づいた利用料金の見直しを行いました。また、様々な生活課題を抱える方に対し、総合相談や成年後見制度など切れ目のない支援を行いました。特に、新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金の特例貸付では、159件、44,255,000円の貸付申請を受付けました。

## “心のこもった” 介護サービス事業

地域で自立生活が続けられるよう、新型コロナウイルス感染防止対策を講じ、訪問介護事業（ホームヘルパー）・通所介護事業（西部デイサービス）・居宅介護支援事業（ケアマネージャー）などの介護サービスを提供しました。



## 新型コロナワクチン接種送迎サービス事業

車の運転ができず家族による送迎ができない方、公共交通手段を利用できない方を対象に、ワクチン集団接種会場への無料送迎を実施しました。（延べ76名の利用）

## 速やかな復興を支援する 災害ボランティアセンター事業

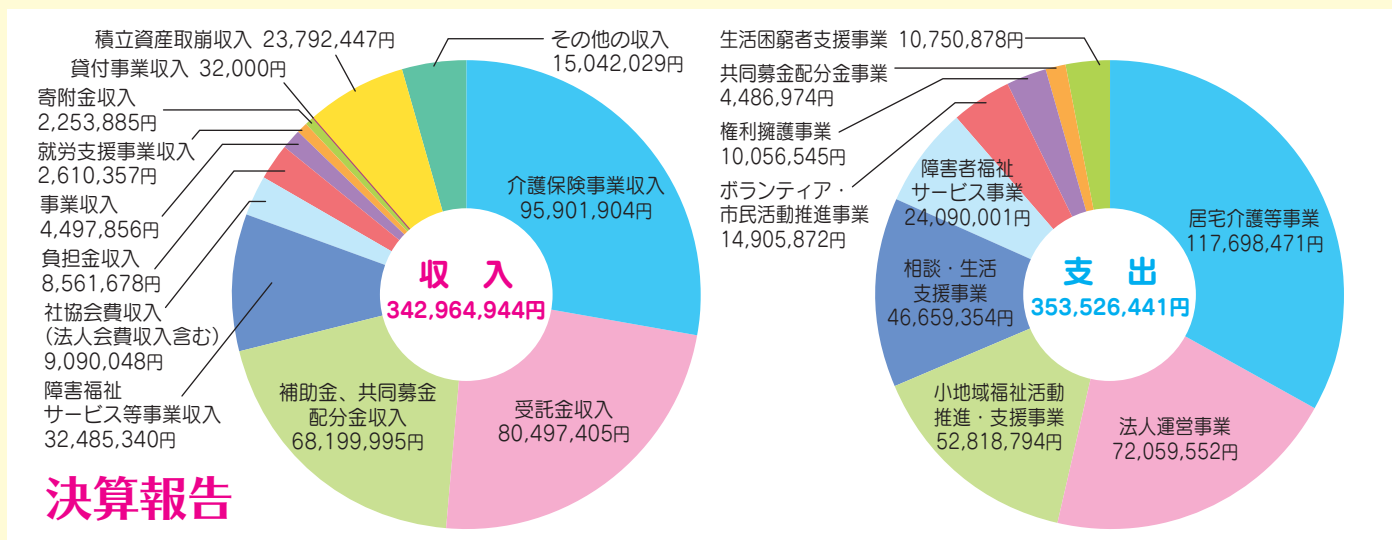
宮川の土石流災害において、被害が及んだ高部地区支援のため、「茅野市災害ボランティアセンター」を開設、520人のボランティアを受け入れ、泥出しなど77件の活動を実施しました。9月27日以降は「茅野市社協ボランティアまちづくりセンター」に移行し、泥で汚れてしまった写真の洗浄依頼を受け、市内の高校2校にボランティア参加を呼びかけ協力をいただきました。

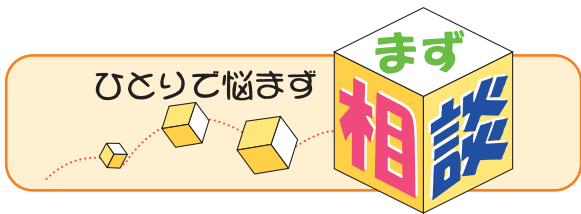


## 障害のある方の相談、 居場所づくりや就労支援事業

「あすなろセンター」の運営を通じて障害のある方に、就労の機会、機能訓練、社会参加の場を提供しました。令和3年度は精密作業が終了となりましたが、3社からの新たな作業受注がありました。

※その他の事業報告、決算報告について、詳しくは社協ホームページをご覧ください。





人生には様々な悩みがあります。  
 「誰にも相談できない」  
 「どこに相談したらよいかわからない」  
 そんなときは、まず社協にお電話ください。

すべての相談会場は  
 社協相談室(茅野市ひと・まちプラザ2階)になります。  
 ☎73-4431

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止又は、電話による相談になる場合があります。

**心配ごと相談**

どんなことでもご相談ください。  
 毎週金曜日 午前9時～正午  
 相談員：社協職員

**結婚相談**

結婚を望まれる方の相談  
 毎月第1・3土曜日 午後1時～午後4時  
 毎月第2・4金曜日 午後6時30分～午後8時30分  
 相談員：結婚相談員

**司法書士の法律相談(予約制)**

身近な法律に関する相談  
 毎月第2水曜日 午後3時～午後5時  
 相談員：司法書士

**ご寄付ありがとうございました**

令和4年4月1日～令和4年5月31日まで  
(順不同、敬称は省略させていただきます)

【寄付金】  
 株式会社美肌倶楽部 代表取締役 柳澤美恵 100,000円

【遺志金】  
 須加僚介 30,000円

みなさんからいただいたご寄付は、社協運営事業、ボランティア活動の支援等にも使われています。  
 ※この他にも匿名で多くの物品やご寄付をいただいております。

社協広報紙 **やらがま** Vol.152  
 2022年8月号  
 発行/社会福祉法人 茅野市社会福祉協議会  
 編集/やらがま編集委員会  
 〒391-0002  
 茅野市塚原2-5-45 茅野市ひと・まちプラザ2階  
 TEL (0266)73-4431 FAX (0266)73-8030  
 URL : <https://sharara.or.jp>  
 E-mail : support@sharara.or.jp

**読者の声**

- クイズの中の写真ですが上場沢から見る八ヶ岳がとても雄大でよく、行って見たいと思います。知らないよい場所があるのですね。(ちの 70代女性)
- 一度何かとお話を聞きたいと思いながら過ぎてしまいます。1日増しにヨタヨタで生きる大変さを噛みしめています。(ちの 90代女性)
- コロナ続きで公民館では中止続き残念!! コロナがなければやれたのに。隔月1度の「今回のクイズ」が毎回やって出すのが楽しみです。(ちの 50代女性)
- やらがまはシンプルながらも、まとまっていて高齢の私でも読みやすいです。(塚原 女性)
- 70代以降の健康的な生活ができるよう、アドバイスを期待します。(玉川 60代女性)
- やらがま毎回楽しみにおまちしています♡(玉川 80代女性)
- 今回は新型コロナウイルス感染拡大する中無事御柱が終わらせたことが大変良かったです。これは一重に皆様のマスク着用や手指消毒、体温測定ができていたからだと思います。このような情勢だからこそ皆様のご協力があったおかげだと思います。(宮川 50代女性)



**今回のクイズ** **並び替え**

下のA～Eを古い順から並び替えてください

- A 第1回茅野どんばん開催
- B スピードスケート小平奈緒選手オリンピックで金メダル獲得
- C 縄文のビーナス、国宝に指定
- D 仮面の女神、国宝に指定
- E 茅野市誕生(市制施行)

**応募要領**  
 クイズの答え、住所、氏名、年齢(年代)、電話番号に社協へのご意見、ご要望、やらがまの感想、つぶやきなど一言添えて社協(やらがま編集委員会)までお送り下さい。ハガキや封書の他、ホームページのお問い合わせフォームからも応募できます。正解者の中から抽選で3名の方に図書カードを差し上げます。

**応募締め切り** 令和4年8月10日(水)

**前回のクイズの答え** ①…② ③…④ ⑤…①

**当選者**  
 井出則子さん(玉川) 清水智子さん(玉川)  
 やなぎだいらさん(塚原)  
 当選された方には図書カードをお送りいたします。  
 ご応募ありがとうございました。



社協広報紙 **やらがま** の発行にはみなさんの社協会費と共同募金が使われています。